

## 参加者募集のお知らせ

「富士山の日」おもてなし体験イベント

～金指近藤家と金指の街並みを巡る（史跡巡りウォーキング）～

近藤家が作り上げ発展させた街並み、人々で賑わった港と市場、信州街道要の金指関所跡を巡ります。

開催日時：2019年2月16日（土）午前9時集合～12時解散  
予備日2月23日（土）

集合場所：細江総合運動公園駐車場

参加費：無料

参加申込：FAX か電話 053-523-2841 FAX共通

担当者：内山豊吉

必要事項：保険加入のため氏名・住所・TEL・年齢をお知らせください

主催：細江町歴史・文学グループ



## ほのぼののちょっといい話

今日は晴天、さあ出かけるよ。

お茶、おにぎり、みかん、外出用歩行器と杖、準備OK。夫、家からお出まし、私の愛車へ、おしりを持ち上げどっこいしょ、家から10分嵩山の散策コースへ。



鳥の声、草木が風にゆれて気分は最高、たわいもない会話。4、5年前はこんな毎日。今は歩行器、杖無し、運転は主人、私は助手席で居眠り。週4日のアルコールも復活。バンザイ

三ヶ日町 井口

## 編集後記

- 時の経つのは早いものですね。新装「ほのぼの」もすでに冬号となりました。次回の春号を迎えて一周年です。感無量  
今年の「ほのぼの」も内容充実を図りたいものです。皆さまのご協力よろしくお願いたします
- 三ヶ日の井口さん「ほのぼののちょっといい話」に毎回寄稿いただいております。ありがたいことです。今回特にご主人様の回復を喜んでおられる様子、まさに「ほのぼの」です。
- 当ボラ連が主催する「会員交流会」好評のうちに開催できましたこと、あらためて御礼申し上げます。  
また、交流会に参加された会員の中で、中日新聞の「発言」欄に『50年ぶりのキャンパス』のタイトルで交流会の感想、様子などを子細にまとめて投稿していただいた方がおられました。誠にありがとうございました。
- この機関紙「ほのぼの」冬号の配達は役員手分けで各会の代表の方にお届けいたします。  
編集長 小木野

# ほのぼの

平成30年冬号(31年新年号)

発行者

浜松市北区ボランティア連絡協議会

会長 中嶋文子

北区細江町気賀4581番地

(社会福祉協議会北地区センター内)

TEL:053-527-2941

FAX:053-527-2945

E-mail:csw-kita@royal.ocn.ne.jp

## 新年を迎えて

昭和・平成・？へ

明けましておめでとうございます。皆さまお元気で新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年も皆さまがますますお元気でボランティア活動を推進されますことを、心よりお祈り申し上げます。

5月になると皇室の御代替わりにより元号が新しくなりますね。私も5月からは三代を生きることになります。まだ若かった昭和の頃、明治生まれのご年配の方々を見て「明治・大正・昭和の三代を生きてこられてすごいなあ」と感じたことを思い出しました。

戦後生まれの私の三代は太平洋戦争を経験して三代を生きてこられた方々とは比較になりませんが、何か感慨深いものがあります。平和の中で育ち、生活し、元気で高齢者の仲間入りができたことに感謝です。

平成の時代は大きな災害が多く、今も仮設暮らしの方々がおられます。この新しい年が平和で、災害のない穏やかな良い年でありますように。

浜松市北区ボランティア連絡協議会 会長 中嶋文子

## 会員紹介 連載③ 日和会

青木かつゑさん

日和会は、月に2回のペースで老人ホームを訪問し、三味線等鳴り物入りで「民謡」を披露しているボランティアサークル。会員は約20名。

このサークルを主宰しているのが青木さん。青木さんが民謡を習い始めたのは30代。当時看護師だったが重責を負わされ、ストレスを発散させたいと飛び込んだのが細江町民謡部だった。

以来、民謡を友として人生を歩んできた。現在、細江町文化協会副会長兼民謡部長を務めながら、地域の民謡教室を指導し美声を張り上げている。

青木さんはまた、「京丸牡丹の茶摘み唄」「小夜の中山馬子唄」など静岡県が発祥の民謡を唄い、その普及にも務めている。

紹介者 小池孝幸

